

平成19年度 第35回 岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会  
 兼 第38回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会県予選会  
 大会最終日:平成19年11月4日(日)  
 会場:岐阜メモリアルセンターで愛ドーム

## 男子の部

<審判>

準決勝 岐阜農林 97  $\left[ \begin{array}{l} 16 - 10 \\ 19 - 9 \\ 26 - 7 \\ 36 - 21 \end{array} \right]$  47 岐南工 棚橋英一・清水潤

両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。岐阜農林は出だしからディフェンスでよく動いて、相手を4分半の間ノーゴールに抑え、攻めては加藤嵩のドライブ、木村のミドルシュート、今井の速攻とバランスよく得点していく。岐南工も高橋を軸にチームを立て直し、多田がミドルシュートを決める。第1ピリオドは岐阜農林が16-10とリードする。

第2ピリオドに入り、岐南工は丁寧にパスをつないで山田貴のシュートで同点に追いつき、その後一進一退の攻防が続く。しかし、岐阜農林は球際の強さを見せ、徐々にペースを握り、川崎のミドルシュート、木村の3点シュートなどで差を広げ、前半は35-19とリードして折り返す。

後半に入っても岐阜農林は前半のリズムを崩さず、相手のミスを誘っては速攻を重ね、今井のシュートや、加藤嵩の2本の3点シュートなどで次々に加点していく。さらにメンバーを交代しながらも、下瀬、加藤剛、曾我らが次々にシュートを決め、最後は97-47と大差をつけて勝利し、決勝へと進んだ。岐南工もゾーンディフェンスを敷いたり、山田裕がゴール下を踏ん張るなどしたが、流れを変えることができなかった。(津田健介)

準決勝 岐阜総合 104  $\left[ \begin{array}{l} 24 - 17 \\ 26 - 13 \\ 35 - 17 \\ 19 - 22 \end{array} \right]$  69 富田 山田祐治・宮崎泰彦

岐阜総合オールコートマンツーマン、富田ハーフコートマンツーマンで始まる。序盤から岐阜総合は田代のジャンプシュート、伊藤のゴール下シュートで着実に得点を重ねる。対する富田は玉田のスピードあるドリブルを起点に速攻を繰り返し、臼井、水野がシュートを決める。第1ピリオドは岐阜総合が24-17と7点のリードを奪う。

第2ピリオドに入っても、岐阜総合は長尾のドライブを軸に、センターへの合わせのプレーで攻撃の手を緩めず、さらにリードを広げ前半を50-30として終わる。富田はハーフコートゾーンディフェンスに切り換えるなどして食い下がろうとするが、高さや力強さに劣り追い上げきれない。

後半に入っても、岐阜総合は選手交代を繰り返しながらも、アグレッシブなディフェンスをスピード感溢れるオフェンスを続け、最後まで気を抜かずにゲームを進めた。最後は104-69で岐阜総合が勝利し、5年連続で決勝へと進んだ。富田も必死に食い下がり、柏崎、水野がシュートを決めるが及ばなかった。(土本 繁)

決勝 岐阜総合 87  $\left[ \begin{array}{l} 17 - 11 \\ 16 - 14 \\ 26 - 9 \\ 28 - 26 \end{array} \right]$  60 岐阜農林 室谷伸治・増田博徳

両チームともプライドをかけて激しいディフェンスの応酬となる。第1ピリオド岐阜総合は寺井、田代のドライブを起点にして、岡島、伊藤がジャンプシュートを決めリードを奪う。岐阜農林も木村のシュートや、伊藤のフリースローで得点をあげる。第1ピリオドは岐阜総合が17-11とリードする。第2ピリオドに入っても両チームのディフェンスが厳しく、ロースコアの展開となる。岐阜総合は、伊藤のシュートや松井の3点シュートが決まると、岐阜農林は川崎、木村の3点シュートなどで追い上げ、前半は岐阜総合が33-25でリードするも、予断を許さぬ試合展開となる。

第3ピリオドに入ると、岐阜総合は 横道の速攻、岡島のジャンプシュート、さらに 田代の3点シュートも決まり、59-34と一気にリードを広げ試合を優位に進める。

第4ピリオドに入っても勢いの衰えない岐阜総合は、伊藤のゴール下シュート、岡島、田代のシュートが次々に決まる。結局最後までよく跳び、走りきった岐阜総合が、大応援団の声援をバックにして87-60で優勝を飾り、2年連続4回目のウィンターカップ出場権を獲得した。岐阜農林も今年の新人大会、県総体を制した意地を見せて 今井、加藤嵩がよくシュートを決めて追いつがったが、最後は力尽きた。(恩田 司)

## 女子の部

< 審判 >

準決勝 岐阜女子 98  $\left[ \begin{array}{l} 35 - 2 \\ 19 - 6 \\ 19 - 7 \\ 25 - 15 \end{array} \right]$  30 岐阜総合 小森邦弘・田中友恵

岐阜女子オールコートマンツーマン、岐阜総合ハーフコートマンツーマンで始まる。両チームともディフェンスで激しくプレッシャーをかけ、ロースコアで競りあいの展開となる。岐阜女子は次第に本来のスピードある攻撃を繰り出し、中村の連続11得点や、伊藤の2連続3点シュートなどで、第1ピリオドは35-2と大きくリードする。岐阜総合は相手のディフェンスを攻めきれずターンオーバーを繰り返し、思うようにシュートまでいけない。

第2ピリオドに入ると、岐阜総合が落ち着きを取り戻し、相手の攻撃を抑え、嶋内や馬淵がリバウンドを奪った。しかし、岐阜女子は伊藤のドライブインや立花の2連続3点シュートで得点を伸ばし、前半を54-8と大量リードで折り返す。

第3ピリオドに入ると岐阜女子はベンチメンバーを次々と投入するが、全員がよく走り、徳、宮部のシュートなどで順調に得点を伸ばしていく。岐阜総合も前田、酒井がジャンプシュートを決めるが、追い上げるには至らない。

第4ピリオドに入り、岐阜女子は激しいディフェンスから岡田、宮部、森本らが速攻やドライブインで次々に得点を決め、最後は98-30の大差で勝ち、決勝へ駒を進めた。岐阜総合も最後は安田、馬淵のジャンプシュートや前田の3点シュートで対抗したが、岐阜女子の壁を崩すことはできなかった。(岩井憲司)

準決勝 県岐阜商 77  $\left[ \begin{array}{l} 12 - 14 \\ 13 - 20 \\ 31 - 23 \\ 21 - 16 \end{array} \right]$  73 高山西 長屋 貴・赤石恵美子

両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。高山西は室谷の1対1、畦地のリバウンドシュートで得点をあげれば、県岐阜商は梶野のドライブ、前田のポストシュートで応戦し、第1ピリオドは14-12と高山西が2点のリードを奪う。第2ピリオドに入っても高山西は畦地のドライブ、井川の3点シュートで差を広げる。県岐阜商もディフェンスの当たりを強め、相手のミス誘っては、山北のミドルシュートで追い上げる。前半は高山西が34-25とリードして折り返す。

後半に入ると、高山西は井川のドライブなどでリードを広げる。しかし県岐阜商は梶野のドライブ、佐野のミドルシュートで追い上げ、第3ピリオド終了時、高山西が57-56とわずか1点のリード。第4ピリオドを迎え、県岐阜商は山北のミドルシュートが決まって逆転すると、その後も

佐野、前田のシュートで再逆転を許さない。残り1分を切って、県岐阜商は1点のリードを懸命に守りきり、最後は前田の3点シュートが決まって77-73で勝ち、4年連続で今大会決勝に進んだ。高山西は、畦地の負傷退場や、最後の場面で痛恨のパスミスがあり、勝ちを逃した。

(津田健介)

決勝 岐阜女子 131  $\left[ \begin{array}{l} 30 - 10 \\ 36 - 5 \\ 37 - 17 \\ 28 - 14 \end{array} \right]$  46 県岐阜商 松野瑞穂・西尾 司

互いにマンツーマンディフェンスでスタート。岐阜女子は積極的なディフェンスから、伊藤、水谷を軸として、茅谷、汪が次々にシュートを決め、相手を圧倒する。県岐阜商も立ち上がりこそ佐野、小坂井がシュートを決めるが、次第に得点をあげられなくなっていく。第1ピリオドは岐阜女子が30-10とリードする。

第2ピリオドに入っても岐阜女子は攻撃の手を緩めず、伊藤、茅谷のドライブインなどで一気に点差を広げる。岐阜女子は、前半で66-15と大勢を決する。

第3ピリオドに入ってから岐阜女子はベンチメンバーを投入するが、上原の巧みなパスワークから、徳、角島がシュートを決め、さらにリードを広げる。県岐阜商も梶野、山北のオフENSリバウンドから得点をあげていく。

第4ピリオドも岐阜女子は終始圧倒的な力を見せ、最後は131-46と完勝し、16年連続17回目の優勝を決めた。小さな巨人たちが繰り出す超高速バスケットに多くの観客は魅了され、ウィンターカップに向けて大いなる期待を抱かせる試合となった。(村田竜一)